

2026 FIA-F4 JAPANESE CHAMPIONSHIP



SUZUKA CIRCUIT

8.20 [Thu] -8.23 [Sun]

[place] 鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市稲生町）

[weather] Sat 晴れ Sun 晴れ

Rd.1-2 FUJI SPEEDWAY

Rd.3-4 Okayama International Circuit

Rd.5-6 FUJI SPEEDWAY

Rd.7-8 SUZUKA CIRCUIT

Rd.9-10 Sportsland SUGO

Rd.11-12 AUTOPOLIS

Rd.13-14 Mobility Resort Motegi

2026 FIA-F4 JAPANESE CHAMPIONSHIP 鈴鹿大会 Rd.7-8

鈴鹿サーキット (5.807 km)

2026.08.20-08.23

ご協賛各社御中

日頃より大変お世話になっております。

8月20日～8月23日、2026 年 FIA-F4 JAPANESE CHAMPIONSHIPの鈴鹿大会が三重県の鈴鹿サーキットで開催されました。



TGM Grand Prix (TGMGP、代表：池田和広) は、池島 実紅選手を擁し、2026 FIA-F4 JAPANESE CHAMPIONSHIP Rd.7-8に参戦。前大会では車両の不具合を解消して挑みましたが、気温が高まると車のキャラクターが突如として変わり、別の問題が発生しました。そのことから、鈴鹿大会では車両交換を実施し、新たな車両を用いて挑んだ週末となりました。

前大会の反省を踏まえて車両交換を実施。レースペースは非常に好調



前大会の富士では、岡山大会を欠場し車両不具合の原因追及に集中したことで原因を突き止めて改善できましたが、気温が上がったドライ路面での走行下では、全力で攻めることができない扱いにくいマシンでした。それを踏まえて新たな車両に交換することとなり、木金の練習走行にて車両の確認を行いました。フィーリングは非常に良く、不具合等は発生しませんでした。車両を交換したことで車の性格に違いがあり、短い練習走行時間で新たなマシンの特性を知ること、マシンの特性に合わせたドライビングを行うことが求められました。

8月22日(土) 公式予選

天気:晴れ 気温:31.7℃ 路面温度:34.5℃ 路面:ドライ



22日(土)8時30分の気温は31.7℃、路面温度34.5℃、完全ドライの状況で公式予選がスタートしました。

木金の練習走行にてマシンの状態を確認し臨みましたが、これまでの車の性格とはひと味違っていることからセッティングに苦戦。ドライバー側がマシンに合わせた走行をする必要がありました。週末の短い練習走行だけではマシンの特性を理解するのに精一杯で、結果として第7戦の公式予選は2.624秒差の29位、2nd ベストタイムが採用される第8戦公式予選は2.601秒差の27位に終わりました。

8月22日(土) 決勝 Rd.7

天気:晴れ 気温:36.0℃ 路面温度:38.3℃ 路面:ドライ



公式予選までのデータとドライバーフィードバックをもとにセットアップの変更を実施。予選時点ではドライバーのドライビングスタイルに十分適合しておらず、セットアップは未完成の状態でしたが、決勝スタートまでに最適な状態へ仕上げることができました。

決勝前、コースイン〜グリッドに付くまでの間にステアリング側のトラブルでシフトダウンできない症状に見舞われたものの、新品ステアリングに交換することで解消。無事にスタートできました。ただ、ステアリングを交換したことでステアのセンターがズレてステアリングを切った時の左右差が発生するなどの問題があり、オーバーテイクが難しいマシンだったことや残り3周でセーフティーカー（SC）が導入されたことでポジションアップとはなりませんでしたが、セットの内容は好調であることを確認。最終的に26位でフィニッシュとなりました。

8月23日(日) 決勝 Rd.8

天気:晴れ 気温:31.8℃ 路面温度:34.5℃ 路面:ドライ



前日のレースを踏まえてアライメントを確認し、左右差がないことを確認。万全な状態でレースに臨みました。前日のレースで変更したセットは、タイヤが消耗してもタイムが落ちておらず、非常に良い感触であったため、微修正に留め大きな変更は加えませんでした。第8戦決勝レースがスタートし、1周目に1ポジション落とすこととなりましたが、最終コーナーでオーバーテイクに成功しポジション回復。2周目1コーナーでクラッシュが発生したことでSCが発動されました。5周目に再開され、徐々に池島選手の前走車との間隔が縮まっていきましたが、ダウンフォースが抜けてしまったことでコースアウト。2ポジションダウンとなりました。その後は予選タイムよりも速いラップタイムを刻むなどペースを落とすことなく順調にレース運びができましたが、第8戦でも残り3周でSCが発動されそのまま24位でフィニッシュ。今後に繋がる貴重なデータを取れた週末となりました。



■ドライバー 池島 実紅 選手 のコメント



今回のレースは、いつもとは異なるマシンで挑むこととなりました。セッティングもこれまでチームと積み上げてきた方向性とは正反対でしたが、トラブルもなく、自分自身をマシンへアジャストできるよう集中して走り込みました。過去の富士とは異なり、周囲のマシンに食らいつつバトルを展開することができ、着実に前へ進めている手応えを得ています。



レースを通して「マシンの不具合による影響」と「セッティングによる影響」をしっかりと切り分けて捉えられるようになり、F4で突き詰めるべきポイントやマシンの理解度も大きく深まりました。

ドライバーとしては悔しい結果で終えたものの、非常に内容の濃いレースウィークとなり、前向きな気持ちです。

課題を一つずつクリアしながら、確実にステップアップしています。

次戦に向けて自分にできる準備を徹底し、さらに前を狙って全力を尽くします。

苦しい時期が続きますが、必ずこの壁を乗り越えて皆様に良い結果をご報告できるよう、チームと共に精進してまいります。引き続き応援よろしくお願いいたします！

■08/22(土) 08:30-08:50 チャンピオンクラス 公式予選 ^{*1}

Best Time : 2'09.906 (Gap + 2.624)

結果 : **29位**/29台 → [結果表](#)

2nd Best : 2'10.072 (Gap + 2.601)

結果 : **27位**/29台 → [結果表](#)

■08/22(土) 14:25- 第7戦 チャンピオンクラス 決勝レース

Best Time : 2'09.894 (Gap + 1.788) ^{*2}

Delay : + 19.918 ^{*3}

結果 : **26位**/29台 → [結果表](#)

■08/23(日) 09:35- 第8戦 チャンピオンクラス 決勝レース

Best Time : 2'09.282 (Gap + 1.761)

Delay : + 14.604

結果 : **24位**/29台 → [結果表](#)

※1 公式予選でのBest Timeを第1戦グリッドに、2nd Bestを第2戦グリッドに採用。

※2 Gap…セッション中のファステストラップとのタイム差。

※3 Delay…トップでゴールした車両とフィニッシュ時点での自車両とのタイム差。

※リザルト表一覧

※写真のダウンロードリンク

以下、写真・ロゴ使用ルール

- ・株式会社セルブスジャパン（以下弊社）の承諾のもとチームのロゴ、写真を使用することが出来ます。尚、写真とロゴは、契約期間が終了しても使用することが出来ます。
- ・商業利用（広告・販促・SNSキャンペーン等）する際は、事前に弊社へご連絡をお願いいたします。
- ・ご協賛企業様がチームより提供を受けた写真・ロゴ・各種素材については、いかなる第三者（他企業・メディア・代理店等）への再提供・再配布はご遠慮願います。
- ・制作物の作成を目的として外部制作会社へ素材を共有する場合は、利用目的を「制作業務」に限定する場合のみ提供可能です。

株式会社セルブスジャパン 営業 小野尊之 (ono-takayuki@servus.cc)

